



▲ノック練習で、フットワークと厳しい体勢でも正確にシャトルを打ち返す力を養います

昨年12月に開催された第25回全国小学生バドミントン選手権大会に沼田東小学校6年の奥野天斗君が県代表チームのメンバーとして出場し、団体戦で3位に入賞しました。奥野君がバドミントンを始めたのは6歳のとき。先に始めていた姉に誘われ、全国大会の出場者を数多く出している三原ジュニアバドミントンクラブへ入会しました。現在は、週1回の合同練習と週4日の自主練習で技術と体力の向上に努めています。得意なのは積極的な攻撃で

「スマッシュが決まった瞬間が気持ちいい」と目を輝かせて話す奥野君。その反面「粘り強くラリーを続けてくる相手は苦手」と言います。今、取り組んでいるのは、長いラリーでも自分のバランスを崩さず、攻撃へつなげるフットワークを身に付けること。中学生など自分よりも強い相手との練習にも力を入れています。全国大会では、普段は県内でしのぎを削る選手たちとチームを組み、「お互いの弱い部分をカバーしながら試合を作っていく」とも経験しました。「シングルよりダブルス

の方が好き。同じ目標に向かって切磋琢磨できるし、勝ったときの喜びも分け合える」と、バドミントンを通じて、仲間の大切さも感じています。「監督やコーチのように、試合をした相手にアドバイスができる選手になりたい」と言う奥野君。春からはバドミントン部のない中学校に通いますが、「部活動で鍛えるライバルに負けないよう、自分で目標を持って取り組みたい」と今日も体育館にスマッシュの音を響かせます。

## 若者 × 情熱

ミハラのチカラ

STORY 11

仲間がいるから強くなれる

三原ジュニアバドミントンクラブ

おくのてんと 奥野天斗君



※このコーナーでは、スポーツや文化・芸術活動などに情熱を注ぐ若者や子どもたちを紹介します。

## 海霧と朝日



### 写真・絵を募集しています

#### テーマ

～あなたが残したい三原の風景～

**応募資格** 市内在住・在勤・在学の人  
**選考** 総務広報課で選考

※応募作品の著作権は市に帰属し、市の公式フェイスブックで紹介させていただく場合があります。

※応募作品は返却しません。

**申し込み** 郵送またはEメールで写真(L判・データ)か絵(大きさは画用紙A3サイズまで)と①名前②住所・電話番号③撮影・制作日④撮影・題材場所⑤作品名⑥作品エピソード(70字以内)を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6007 [somukoho@city.mihara.hiroshima.jp](mailto:somukoho@city.mihara.hiroshima.jp))へ

撮影エピソード 撮影者 **どいたかお 土井多賀男さん**

一段と冷え込んだ朝。立ち込めた海霧に朝日が差し込み、目の前に幻想的な光景が広がりました。



●撮影年月 平成28年12月  
●撮影場所 貝野町